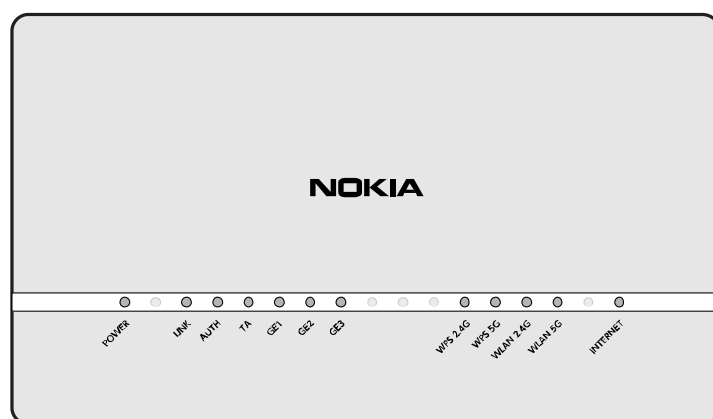


光回線終端装置

E-240W-A



ユーザーマニュアル



- 製品を安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになり、指示に従ってください。
- お読みになったあとは、必要なときにいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

本書はパソコンをインターネットに接続する基本的な知識を有する方を対象としています。

もくじ

はじめに.....	4
安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	7
無線 LAN に関するご注意.....	8
電波法について.....	8
レーザー放射について.....	8
商標について.....	8
本書について.....	8
ご使用になる前に.....	9
梱包品の確認.....	9
各部のなまえ.....	10
設置する.....	12
パソコンと接続する.....	13
設定する.....	14
ログイン/ログアウト.....	14
ログインする.....	14
ログアウトする.....	15
設定画面の基本操作.....	16
設定メニュー一覧.....	17
状態.....	18
端末情報.....	18
LAN 状態.....	19
WAN 状態.....	21
WAN 状態 IPv6.....	22
ネットワーク.....	23
LAN.....	23
LAN IPv6.....	25
WAN.....	27
無線 (2.4GHz) / 無線 (5GHz).....	28
無線スケジュール.....	30
セキュリティ.....	32
ファイアウォール.....	32
MAC フィルタ.....	34
IP フィルタ.....	36
ポートフィルタ.....	38
URL フィルタ.....	39
保護者制限.....	40
DMZ と ALG.....	42
アプリケーション.....	43
ポートフォワーディング.....	43
ポートトリガリング.....	45
DDNS.....	46
NTP.....	47
UPNP と DLNA.....	48
メンテナンス.....	49
パスワード.....	49
端末再起動.....	50
工場出荷時設定.....	51

診断.....	52
仕様.....	53

はじめに



安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

安全に関する注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。

危険警告ラベルの種類

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用マークの意味

	感電の危険があることを示しています。
	火災の危険があることを示しています。
	レーザー放射の危険があることを示しています。
	してはいけないこと（禁止事項）を示しています。
	濡れた手でさわることを禁止しています。
	濡らすことを禁止しています。
	分解や改造を禁止しています。
	しなければならないこと（強制事項）を示しています。
	AC アダプタをコンセントから抜くことを示しています。

 **警告****電源や AC アダプタの取り扱いについて**

本製品に付属の AC アダプタ以外を使用したり、付属の AC アダプタを他の製品に使用しないでください。

火災や感電の原因となります。



AC アダプタのコードを傷つけたり、破損させるような以下の行為はしないでください。

コードが傷んだ状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

- 加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなどの行為
- コードの上に重い物を載せない
- 加熱しない
- AC アダプターを抜くときはコードを無理に引っ張らず、プラグを持って抜く



交流 100V の家庭用電源以外では使用しないでください。

本製品は日本国内専用です。他の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。



AC アダプタは根本まで電源コンセントに確実に差し込んでください。

電源プラグの金属部に金属などが触れると、火災や感電の原因となります。



たこ足配線をしないでください。

火災の原因となります。



ぬれた手で本製品や AC アダプタを触らないでください。

感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、AC アダプタに触れたり、周辺機器の接続をしないでください。

落雷による感電の原因となります。

使用に関するご注意

本製品を分解・改造しないでください。

火災や感電の原因となります。分解・改造された場合は、保証の対象外となります。



異常が発生したときは AC アダプタを抜き、直ちに使用を中止してください。

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

- 煙が出たり、異臭や異音がする
- 内部に水や異物が入った
- 本製品や AC アダプタが破損した
- 本製品を落とした
- 正常に動かない

⚠ 警告



水のかかるおそれのある場所で使用したり、水にぬらさないでください。また、本製品や AC アダプタのそばに、水や液体の入ったコップ、花瓶、植木鉢、化粧品、薬用品などの容器、および金属類を置かないでください。

火災や感電の原因となります。万一、本製品の内部に水などが入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。



本製品の内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器、および心臓ペースメーカーなどの近くで使用しないでください。

本製品からの電波が、電子機器や心臓ペースメーカーに影響を与え、誤動作の原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内などの使用を制限された場所では、使用しないでください。

レーザーについて



本製品の設置や、光ファイバーケーブルの移動は、レーザー放射による障害に関して非常に詳しい、適切な資格を持ったサービス担当者だけが行ってください。



光ファイバーケーブルをコネクタから外すとき、光ファイバーケーブルからレーザーの放射がある可能性があります。そのため、レーザーの安全に関する以下の危険性について注意してください。

- レーザービームを直視しないでください。

目を損傷する可能性があります。光モジュールに光ケーブルを差し込む前に、必要な予防策を行ってください。

- 直径が 7.5cm より小さくなるように光ファイバーケーブルを曲げないでください。

光ファイバーケーブルが損傷したり、通常より光信号が弱くなる可能性があります。



本製品は送出する光出力に基づき、クラス 1 レーザー製品に分類されます。

⚠ 注意

電源や AC アダプタの取り扱いについて



AC アダプタと電源コンセントの間のほこりは、定期的に掃除してください。

火災の原因となります。

清掃の際は、必ず AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。



長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

注意

設置場所について



本製品や AC アダプタを以下のような環境に設置しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

- 直射日光の当たる場所や、温度の高いところ（40℃以上）
- クーラーや暖房機のそばなどの温度変化の激しい場所
- 湿気の多い場所や、ごみ・ほこりの多い場所
- 油飛びや湯気が当たる場所
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動や衝撃の多い場所、カーペットやクッションの上などの不安定な場所
- 本棚や収納棚の後ろなど、風通しの悪い場所



本製品を移動する際は、必ず AC アダプタを電源コンセントから抜き、外部の接続線を外してから行ってください。

本製品が落下してケガをしたり、コードや接続している機器に傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



本製品の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた機器を近づけないでください。

本製品の受信周波数帯域（90MHz～770MHz）に相当する周波数を用いた機器を、本製品やケーブルテレビ宅内線を接続している機器に近づけると、不具合が生じる場合があります。これらの機器は離してご使用ください。

使用上のご注意

結露について

- 暖かい部屋の窓ガラスに水滴が付く（結露）ように、本製品に結露が発生した場合は、完全に乾くまで使用しないでください。
- 結露が発生した場合、AC アダプターをコンセントへ差し込み、電源を入れて約 1～2 時間、または、電源を入れないで 2～3 時間、乾燥するまで放置してください。
- 結露は次のような状況で起こりやすいので、ご注意ください。
 - 本製品を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
 - 急に部屋を暖房したとき
 - エアコンなどの冷風が直接当たるところ
 - 湿気の多いところ

お手入れについて

- 本製品が汚れたときは、柔らかい布で軽く汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞って使用したあと、乾いた布でから拭きしてください。中性洗剤を使用する場合は、注意書をよくお読みください。
- 本製品が傷んだり、塗料が剥がれるおそれがあるため、シンナーやベンジンなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。

無線 LAN に関するご注意

1. 電波を使う機器から離してご使用ください。

本製品の内蔵無線 LAN の使用周波数は 2.4GHz/5GHz 帯です。

本製品の設置状況によっては、電波の干渉による悪影響が生じるおそれがあるため、次の機器からできるだけ離して設置してください。

- 電子レンジ、他の無線 LAN 機器、Bluetooth 対応機器
- その他 2.4GHz、5GHz の電波を使用する機器（デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

2. 電波状況によっては、通信が途切れたり、正常に通信できない場合があります。

3. 万一、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、機器の使用を停止してください。

4. その他、何かわからないときや困ったときは、ご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

電波法について

本製品の無線送信は、5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

W56 帯域以外の 5GHz 無線 LAN 機能を屋外で使用することは、電波法令により禁止されています。

本製品の内蔵無線 LAN を分解/改造する行為は、法律で罰せられることがあります。

電波障害に関するご注意



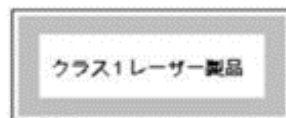
この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

レーザー放射について

本製品は送出する光出力に基づき、クラス 1 レーザー製品に分類されます。



商標について

- Nokia は Nokia Corporation の登録商標です。
- 「Internet Explorer」は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

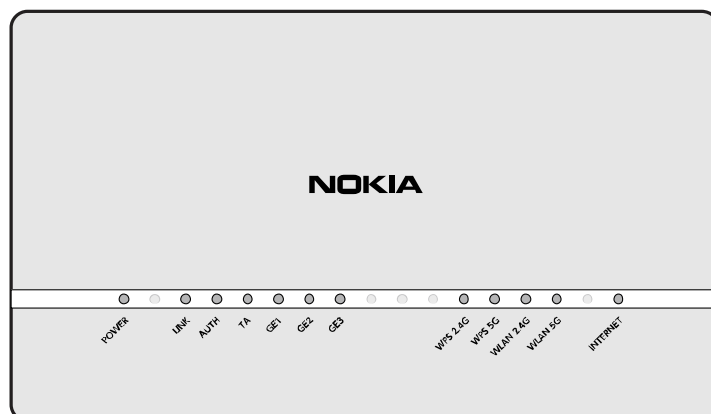
本書について

- 本書の著作権はノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社が所有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製または転載することを禁じます。
- 本書に掲載されている情報は予告なく変更される場合があります。
- 本書の記載内容によって操作した結果生じた影響について、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用になる前に

梱包品の確認

下図の梱包品が入っていることを確認してください。



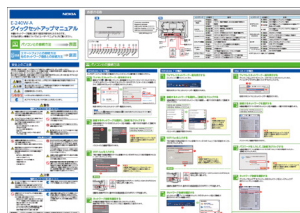
E-240W-A 本体×1



AC アダプタ・電源ケーブル×1



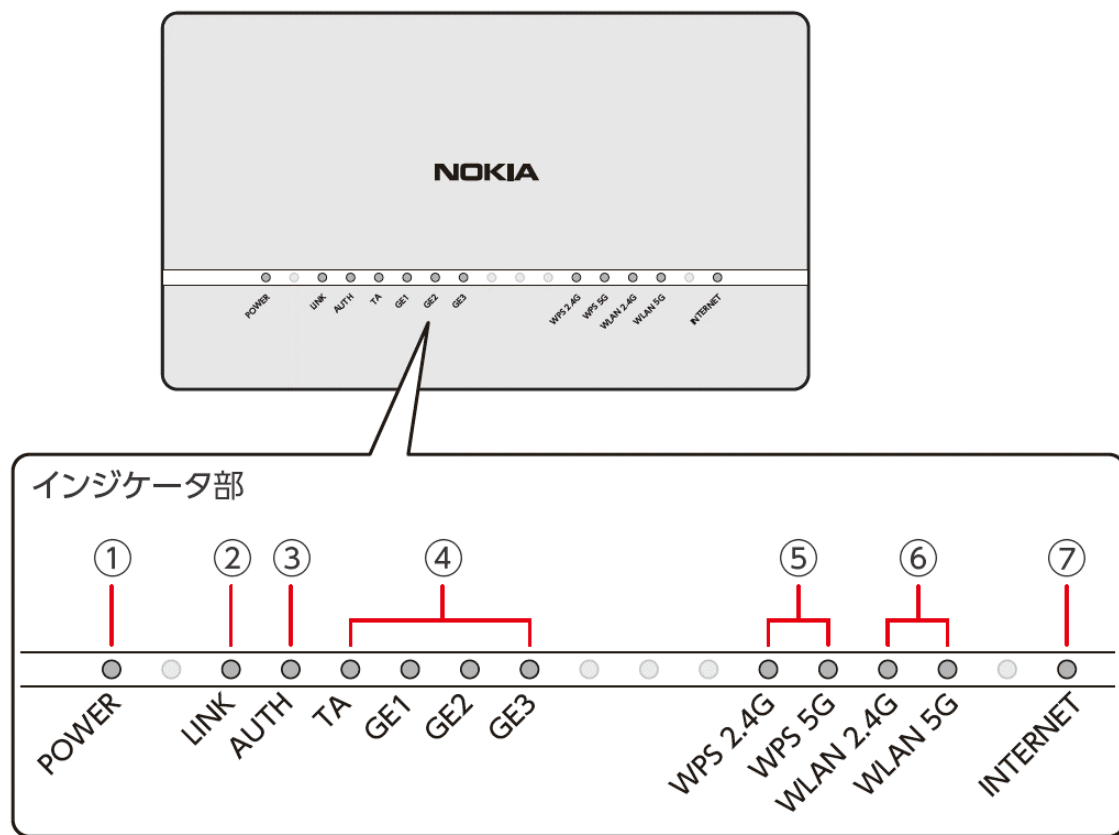
LAN ケーブル (CAT5e RJ45) 2m×1



クイックセットアップマニュアル×1

各部のなまえ

【正面】



インジケータ	LED 動作	説明
① POWER (電源)	● 緑点灯	電源入
	● 黄点灯	自己診断で異常あり
	● 消灯	電源切
② LINK (リンク)	● 緑点灯	ONT と OLT 間の EPON リンクが正常
	● 消灯	EPON リンクがダウン時またはリンクが接続されていない
③ AUTH (認証)	● 緑点灯	ONT は OLT 上で構成されており稼働中 (UP)
	● 緑点滅	OLT の範囲で試行中
	● 消灯	ファイバーケーブル未接続または Rx 電源なし
④ TA・GE1~GE3	● 緑点灯	イーサネットがリンク済み
	● 緑点滅	LAN 動作あり
	● 消灯	ONT 電源が切断またはイーサネットが未接続
⑤ WPS 2.4G・ WPS 5G	● 緑点灯	Wi-Fi 保護セットアップリンクが稼働中
	● 緑点滅	Wi-Fi 保護セットアップリンク操作
	● 赤点滅	Wi-Fi 保護セットアップの処理例外または複数ピアが同時に WPS を使用
	● 消灯	Wi-Fi 保護セットアップリンクがダウン状態またはリンクが未接続
⑥ WLAN 2.4G・ WLAN 5G	● 緑点灯	WLAN リンクが有効
	● 緑点滅	トラフィックは WLAN リンクを経由して通過中
	● 消灯	WLAN リンクが無効

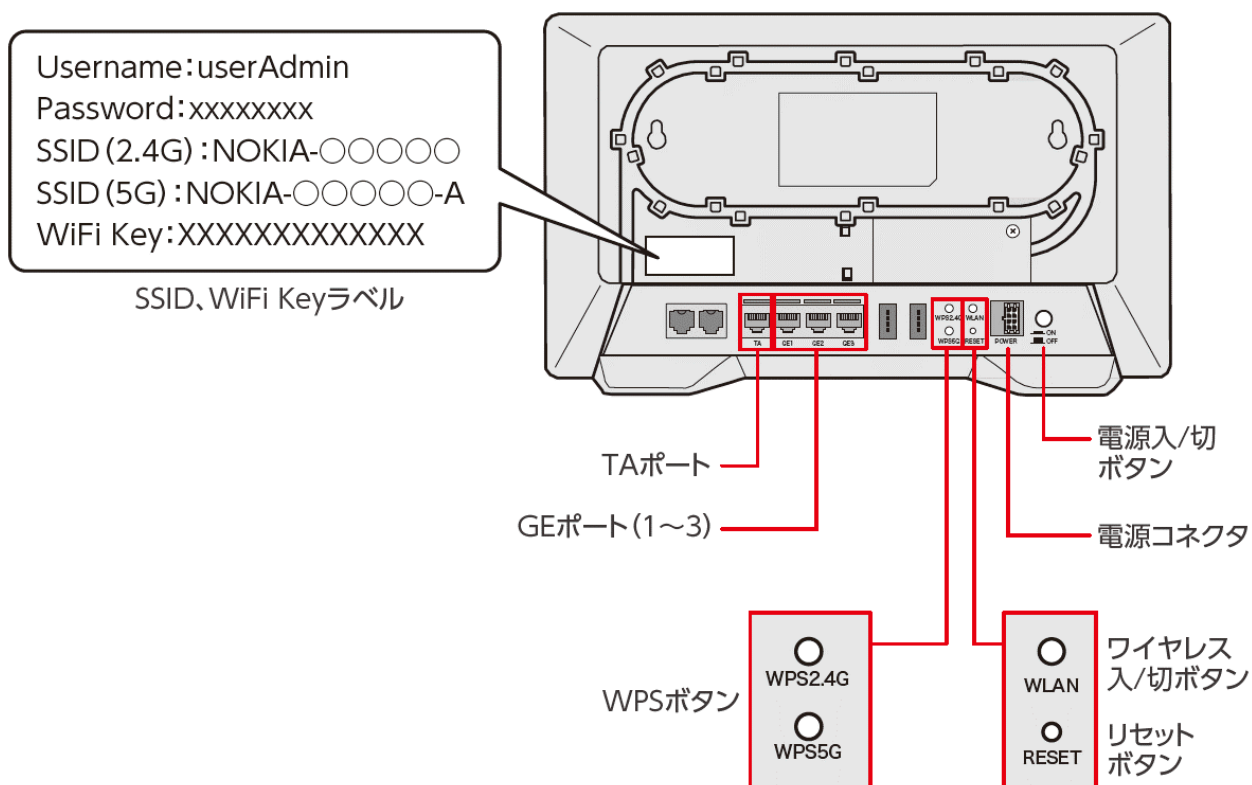
インジケータ	LED 動作	説明
⑦ INTERNET (インターネット)	● 緑点灯	HSI WAN が接続済み
	● 緑点滅	PPPoE または DHCP が接続中
	● 消灯	HSI WAN が未接続

※ONT：光ネットワーク端末、OLT：光回線終端装置

※TAポートは音声（VoIP）サービス専用ポートになっております。インターネット接続の用途にはご使用できません。

※GE1ポートはTAポートの次ポートとなり、インターネット接続に使うためのインタフェースとなります。

【背面】



設置する

本製品は直置きで設置します。

注意



他の機器の上に重ねて設置しないでください。

高温となり、やけどや故障の原因となります。



本装置に布をかけた状態で使用しないでください。

熱がこもって高温となり、やけどや故障の原因となります。



上面から 100mm 以上、側面の通気口から 50mm 以上空けて設置してください。

熱がこもって高温となり、やけどや故障の原因となります。



本製品を以下のような環境に設置しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。

- 直射日光の当たる場所や、温度の高いところ（40℃以上）
- クーラーや暖房機のそばなどの温度変化の激しい場所
- 湿気が多い場所や、ごみ・ほこりの多い場所
- 油飛びや湯気が当たる場所
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動や衝撃の多い場所、カーペットやクッションの上などの不安定な場所
- 本棚や収納棚の後ろなど、風通しの悪い場所

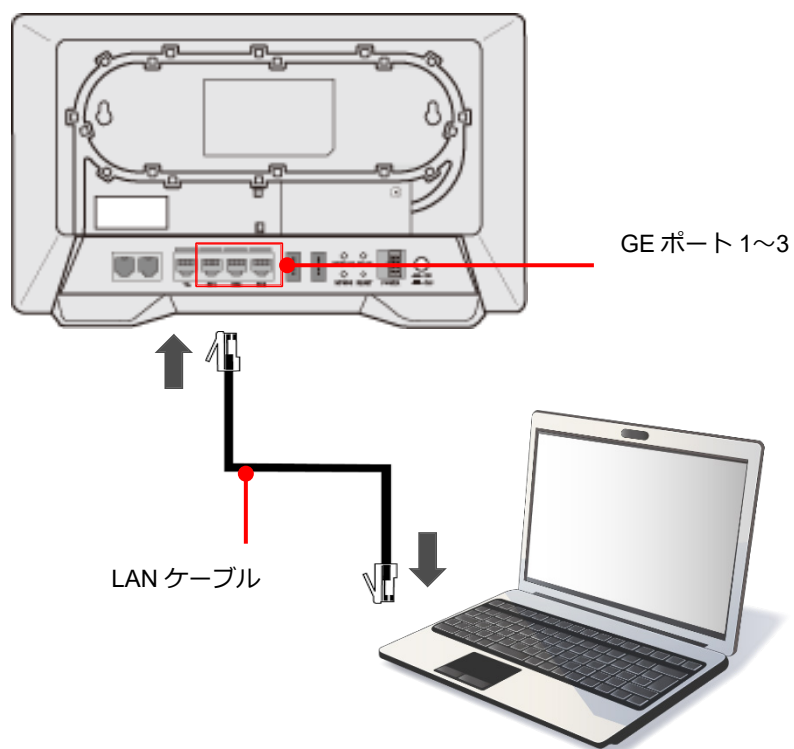


本製品を移動する際は、必ず AC アダプタを電源コンセントから抜き、外部の接続線を外してから行ってください。

本製品が落下してケガをしたり、コードや接続している機器に傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

パソコンと接続する

設定を行う前に本製品とパソコンを付属の LAN ケーブルで接続します。



1 付属の LAN ケーブルを GE ポート 1~3 のいずれかに接続します。

2 LAN ケーブルのもう一方のコネクタをパソコンに接続します。

設定する

ログイン/ログアウト

E-240W-A の各種設定は、パソコンで [EPON ホームゲートウェイ] ウィンドウにログインして行います。ログイン/ログアウトは、以下の手順に従ってください。

ログインする

- 1 **Internet Explorer などのブラウザのアドレスバーに「192.168.0.1」を入力し、Enter キーを押します。**
ログインウィンドウが表示されます。
- 2 **ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。**
本製品背面の製品ラベルで [Username] と [Password] を確認し、ユーザ名とパスワードを入力します。

- ユーザ名 : userAdmin
- パスワード : xxxxxxxx

注意

お客様ご自身でユーザ名やパスワードを変更された場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

[EPON ホームゲートウェイ] のホーム画面が表示されます。

状態>読み情報		
読み名		E-240W-A
ベンダ		Nokia
ハードウェアバージョン		3FE47786AAAA
ソフトウェアバージョン		3FE471320.00
読み起動時間		2 時間 30 分 31 秒

リフレッシュ

ログアウトする

- 1 [EPON ホームゲートウェイ] ウィンドウで、[ログアウト] をクリックします。



[EPON ホームゲートウェイ] ウィンドウが閉じます。

設定画面の基本操作

[EPON ホームゲートウェイ] ウィンドウでは、各種の設定を共通の操作で行えます。



フィールド	説明
① ログアウト	[EPON ホームゲートウェイ] からログアウトします。
② English 日本語	画面表示の言語（英語／日本語）を切り換えます。
③ メニュー	⊕ 付のメニューをクリックすると、アイコンが ● に変わり、下にサブメニュー（設定項目）が表示されます。もう一度クリックすると、サブメニューが折りたたまれて非表示になります。選択中のメニューは赤字で表示されます。
④ 設定エリア	選択したサブメニューの設定項目が表示されます。

設定メニュー一覧

メニュー	サブメニュー	機能説明	参照先
状態	端末情報	端末やネットワークの状態、光モジュールの状態のほか、各ポートの統計情報を確認できます。	P.18
	LAN 状態		P.19
	WAN 状態		P.21
	WAN 状態 IPv6		P.22
ネットワーク	LAN	LAN、WAN、無線などのネットワークの接続に関する設定を行います。	P.23
	LAN IPv6		P.25
	WAN		P.27
	無線 (2.4 GHz)		P.28
	無線 (5 GHz)		P.28
	無線スケジュール		P.30
セキュリティ	ファイアウォール	ファイアウォールや各種フィルタ、アクセスブロックなど、セキュリティに関する設定を行います。	P.32
	MAC フィルタ		P.34
	IP フィルタ		P.36
	ポートフィルタ		P.38
	URL フィルタ		P.39
	保護者制限		P.40
	DMZ と ALG		P.42
アプリケーション	ポートフォワーディング	ポート転送やダイナミック DNS、ネットワーク・タイム・プロトコルなど、アプリケーションに関する設定を行います。	P.43
	ポートトリガリング		P.45
	DDNS		P.46
	NTP		P.47
	UPNP と DLNA		P.48
メンテナンス	パスワード	パスワードを変更したり、工場出荷時の設定に戻したりします。 本製品の診断も行えます。	P.49
	端末再起動		P.50
	工場出荷時設定		P.51
	診断		P.52

状態

【状態】メニューでは、以下の状態や設定情報を確認できます。

- 端末情報
- LAN 状態
- WAN 状態
- WAN 状態 IPv6

端末情報

1 メニューで【状態】 > 【端末情報】の順に選択します。

端末情報が表示されます。



フィールド	説明
端末名	ONT の名前が表示されます。
ベンダ	ベンダの名前が表示されます。
ハードウェアバージョン	ONT のハードウェアバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	ONT のソフトウェアバージョンが表示されます。
チップセット	チップセットの名前が表示されます。
端末起動時間	最後にリセットされてからデバイスを稼働した時間（時、分、秒）が表示されます。

2 表示されている内容を確認します。

メモ

【リフレッシュ】をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

LAN 状態

1 メニューで [状態] > [LAN 状態] の順に選択します。

LAN 状態の情報が表示されます。

EPONホームゲートウェイ
ログアウト
English | 日本語

状態

端末情報

LAN状態

WAN状態

WAN状態IPv6

ネットワーク

セキュリティ

アプリケーション

メンテナンス

状態>LAN状態

無線情報

無線状態	オン
無線チャンネル	6
SSID名	NOKIA-E469C
無線番号化状態	WPA/WPA2-PSK
無線受信パケット	539
無線送信パケット	1470
無線受信バイト	226057
無線送信バイト	381332
送信出力(mW)	100

イーサネット情報

イーサネット状態	アップ
イーサネットIPアドレス	192.168.0.1
イーサネットサブネットマスク	255.255.255.0
イーサネットMACアドレス	50:eb:3f:ae:46:a4
イーサネットRxパケット	17770
イーサネットTxパケット	17341
イーサネットRxバイト	1960856
イーサネットTxバイト	5494607

情報	TA	GE1	GE2	GE3	XE
状態	ダウン	アップ	ダウン	ダウン	ダウン
デュプレックスモード	半二重	全二重	半二重	半二重	半二重
最大ビットレート	Auto	1000	Auto	Auto	Auto
エラー受信	0	0	0	0	0
エラー送信	0	0	0	0	0
パケット受信	1428	16342	0	0	0
パケット送信	954	16387	0	0	0
バイト受信	150914	1809942	0	0	0
バイト送信	383318	5111289	0	0	0

リフレッシュ

フィールド	説明
無線情報	
無線状態	無線の状態（オン/オフ）が表示されます。
無線チャンネル	無線チャンネル番号が表示されます。
SSID 名前	各 SSID の名前が表示されます。
無線暗号化状態	無線接続で使用する暗号タイプが表示されます。
無線受信パケット	無線接続で受信したパケット数が表示されます。
無線送信パケット	無線接続で送信したパケット数が表示されます。
無線受信バイト	無線接続で受信したバイト数が表示されます。
無線送信バイト	無線接続で送信したバイト数が表示されます。
送信出力（mW）	無線送信の出力（単位：mW）が表示されます。
イーサネット情報	
イーサネット状態	イーサネット接続状態（オン/オフ）が表示されます。
イーサネット IP アドレス	イーサネット接続の IP アドレスが表示されます。
イーサネットサブネットマスク	イーサネット接続のサブマスクが表示されます。
イーサネット MAC アドレス	イーサネット接続の MAC アドレスが表示されます。
イーサネット Rx パケット	イーサネット接続で受信したパケット数が表示されます。
イーサネット Tx パケット	イーサネット接続で送信したパケット数が表示されます。
イーサネット Rx バイト	イーサネット接続で受信したバイト数が表示されます。
イーサネット Tx バイト	イーサネット接続で送信したバイト数が表示されます。
情報（TA、GE1、GE2、GE3）	
状態	LAN 回線の状態（アップ/ダウン）が表示されます。
デュプレックスモード	二重化モード（全二重/半二重）が表示されます。
最大ビットレート	最大ビットレート（自動/数値）が表示されます。
エラー受診	受信したエラーの数が表示されます。
エラー送信	送信したエラーの数が表示されます。
パケット受信	受信パケット数が表示されます。
パケット送信	送信したパケット数が表示されます。
バイト受信	受信したバイト数が表示されます。
バイト送信	送信したバイト数が表示されます。

2 表示されている内容を確認します。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

WAN 状態

1 メニューで [状態] > [WAN 状態] の順に選択します。

WAN 状態の情報が表示されます。



フィールド	説明
接続モード	WAN 接続の接続モードが表示されます。
有効/無効	WAN 接続を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

2 表示されている内容を確認します。

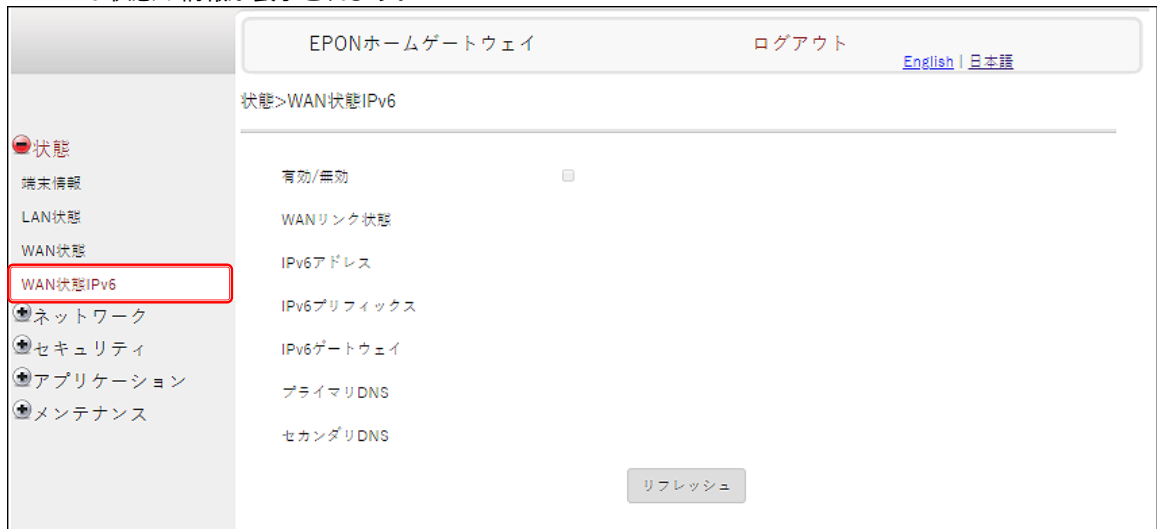
メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

WAN 状態 IPv6

1 メニューで [状態] > [WAN 状態 IPv6] の順に選択します。

WAN IPv6 状態の情報が表示されます。



フィールド	説明
有効/無効	WAN 接続を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
WAN リンク状態	WAN リンク状態（アップ/ダウン）が表示されます。
IPv6 アドレス	デバイスとその位置を識別する IPv6 アドレスが表示されます。
IPv6 プリフィックス	IPv6 のプリフィックスが表示されます。
IPv6 ゲートウェイ	IPv6 ゲートウェイアドレスが表示されます。
プライマリ DNS	一次ドメイン名サーバが表示されます。
セカンダリ DNS	二次ドメイン名サーバが表示されます。

2 表示されている内容を確認します。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

ネットワーク

[ネットワーク] メニューでは、以下の項目を設定できます。

- LAN
- LAN_IPv6
- WAN
- 無線 (2.4GHz)
- 無線 (5GHz)
- 無線スケジュール

LAN

1 メニューで [ネットワーク] > [LAN] の順に選択します。

LAN に関する設定項目が表示されます。

EPONホームゲートウェイ ログアウト English | 日本語

ネットワーク>LAN

IPアドレス 192.168.0.1

サブネットマスク 255.255.255.0

DHCP有効

DHCP開始IPアドレス 192.168.0.2

DHCP最終IPアドレス 192.168.0.254

DHCPリースタイム 1440 分

プライマリDNS

セカンダリDNS

保存 リフレッシュ

スタティックDHCPエントリ

MACアドレス

IPアドレス

追加

MACアドレス	IPアドレス	削除
54-E1-AD-00-00-00	192.168.0.11	削除
54-E1-AD-00-00-02	192.168.0.12	削除

フィールド	説明
IP アドレス	ONT の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	ONT のサブネットマスクを入力します。
DHCP 有効	DHCP を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
DHCP 開始 IP アドレス	開始 DHCP IP アドレスを入力します。
DHCP 最終 IP アドレス	終了 DHCP IP アドレスを入力します。
DHCP リースタイム	DHCP リース時間（単位：分）を入力します。
プライマリ DNS	プライマリ DNS 識別子を入力します。
セカンダリ DNS	セカンダリ DNS 識別子を入力します。
スタティック DHCP エントリ	
MAC アドレス	スタティック DHCP の MAC アドレスを入力します。
IP アドレス	スタティック DHCP の IPv4 アドレスを入力します。
スタティック DHCP リスト	設定済みのスタティック DHCP がリストで表示されます。

2 IP アドレスやサブネットマスクを指定します。

3 【DHCP 有効】をオンにした場合は、DHCP 情報を入力します。

4 【保存】をクリックします。

設定内容が保存されます。

メモ

【リフレッシュ】をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

5 【スタティック DHCP エントリ】情報を追加する場合は、MAC アドレスと IP アドレス情報を入力し、【追加】をクリックします。

メモ

スタティック DHCP リストで【削除】をクリックすると、設定を削除できます。

LAN IPv6

1 メニューで [ネットワーク] > [LAN_IPv6] の順に選択します。

LAN IPv6 に関する設定項目が表示されます。

The screenshot shows the configuration page for LAN IPv6. The page title is "EPONホームゲートウェイ" with a "ログアウト" button and language options "English | 日本語". The breadcrumb is "ネットワーク>LAN_IPv6". The left sidebar has a red box around "LAN_IPv6". The main content area is titled "IPv6 LANホスト設定" and "DHCPv6サーバプール".

IPv6 LANホスト設定	
DNSサーバ	HGWプロキシ <input checked="" type="checkbox"/>
ブリフィックス設定	WAN接続 <input checked="" type="checkbox"/>
インターフェース	<input checked="" type="checkbox"/>

DHCPv6サーバプール	
DHCP開始IPアドレス	0.0.0.2
DHCP最終IPアドレス	0.0.0.255
DHCP経由からのアドレスか	<input type="checkbox"/>
その他DHCPから取得された情報か	<input checked="" type="checkbox"/>
RAメッセージの最大間隔	600 秒
RAメッセージの最少間隔	200 秒

保存/適用

フィールド	説明
IPv6 LAN ホスト設定	
DNS サーバ	ドロップダウンメニューから任意の DNS サーバを選択します。
プリフィックス設定	ドロップダウンメニューから、[WAN 接続] (プリフィックスは WAN から取得) または [スタティック] (ユーザーがプリフィックスを入力可能) の任意のプリフィックス設定を選択します。
インターフェース	このフィールドは、プリフィックス設定で [WAN 接続] を選択すると表示されます。ドロップダウンメニューから任意の WAN 接続を選択します。
プリフィックス	このフィールドは、プリフィックス設定で [スタティック] オプションを選択すると表示されます。接続を入力します。
DHCPv6 サーバプール	
DHCP 開始アドレス	開始 DHCP IP アドレスを入力します。
DHCP 最終アドレス	終了 DHCP IP アドレスを入力します。
DHCP 経由からのアドレスか	DHCP からアドレス情報を取得できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
その他 DHCP から取得された情報か	DHCP からその他の情報を取得できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
RA メッセージの最大周期	定期的な RA (Router Advertisement) メッセージの最長送信間隔を秒数で入力します。間隔の範囲は 4~1800 です。
RA メッセージの最少周期	定期的な RA (Router Advertisement) メッセージの最短送信間隔を秒数で入力します。間隔の範囲は 4~1800 です。

2 DNS サーバ、プリフィックス設定およびインターフェースを選択します。

3 DHCP 設定情報を選択または入力します。

4 RA メッセージの周期を指定します。

5 [保存適用] をクリックします。

WAN

1 メニューで [ネットワーク] > [WAN] の順に選択します。

WAN に関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
接続モード	ドロップダウンメニューから任意の WAN 接続を選択し、接続パラメータを指定します。
IP モード	ドロップダウンメニューから IP モード (IPv4/IPv6) を選択します。
NAT	NAT を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
サービス	この接続に対するインターネットのサービスタイプを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
WAN IP モード	ドロップダウンメニューから IP モードを選択します。
マニュアル DNS	手動の DNS を入力します。

2 特定の WAN 接続を設定します。

3 [保存] をクリックします。

無線 (2.4GHz) / 無線 (5GHz)

1 メニューで [ネットワーク] > [無線 (2.4GHz)] または [無線 (5GHz)] の順に選択します。

無線 (2.4GHz) または無線 (5GHz) に関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
モード	ド롭ダウンメニューから Wi-Fi モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • オート (b/g/n) • b • g • n • b/g
帯域	ド롭ダウンメニューから周波数を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 20 MHz • 40 MHz • 20/40 MHz
チャンネル	ド롭ダウンメニューから任意のチャンネルを選択するか、[自動] を選択して自動的にチャンネルを割り当てます。

送信出力	ドロップダウンメニューから送信出力のパーセンテージを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 25 % • 50 % • 75 % • 100 %
WMM	ドロップダウンメニューから Wi-Fi マルチメディアの有効または無効を選択します。
合計最大ユーザー数	MAX ユーザー総数を入力します。
SSID 設定	
SSID 選択	ドロップダウンメニューから SSID を選択します。
SSID 名	SSID 名を入力します。
SSID 有効	ドロップダウンメニューから SSID の有効または無効を選択します。
SSID ブロードキャスト	ドロップダウンメニューから SSID ブロードキャストの有効または無効を選択します。
最大ユーザー数	MAX ユーザー数を入力します。
暗号化モード	ドロップダウンメニューから暗号化モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • OPEN • WEP • WPA/WPA2 パーソナル • WPA/WPA2 エンタープライズ⁽¹⁾ ⁽²⁾
WPA バージョン	ドロップダウンメニューから任意の WPA バージョンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • WPA1 • WPA2 • WPA1/WPA2
WPA 暗号化モード	ドロップダウンメニューから任意の WPA 暗号化モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TKIP • AES • TKIP/AES
WPA キー	WPA キーを入力します。 パスワードを表示させたい場合は、[パスワードを確認] チェックボックスをオンにします。
WPS 有効	ドロップダウンメニューから WPS の有効または無効を選択します。
WPS モード	ドロップダウンメニューから WPS モード (PBC : プッシュボタンコネクト / PIN : 個人識別番号) を選択します。
ドメイングループピング	ドメイングループピングを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

注

- (1) 暗号化モードが WPA/WPA2 Enterprise に設定されているときは、以下のオプションは利用できません。
WPA バージョン、WPA 暗号化モード、WPA キー、WPS 有効、WPS モード
- (2) 暗号化モードが [WPA/WPA2 エンタープライズ] に設定されているときは、以下のオプションを利用できます。
プライマリ RADIUS サーバー、プライマリ RADIUS ポート、プライマリ RADIUS パスワード、セカンダリ RADIUS サーバー、セカンダリ RADIUS ポート、セカンダリ RADIUS パスワード、RADIUS アカウンティングサーバーポート、RADIUS アカウンティングサーバーキー、RADIUS アカウンティングサーバータイムインターバル

2 Wi-Fi 接続を設定します。

3 WPS を有効にした場合は、[WPS 接続] をクリックします。

4 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

無線スケジュール

1 メニューで [ネットワーク] > [無線スケジュール] の順に選択します。

無線スケジュールに関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
スケジュール機能	設定された期間において無線信号をオフにするには、チェックボックスをオンにします。
現在の状況	現在の状況が表示されます。
下記に従い無線信号を無効に設定（スケジュールリスト）	すでに設定されているスケジュールが表示されます。スケジュールを追加する場合は、[+] をクリックし、スケジュールを設定します。

2 [スケジュール機能] をオンにします。

3 スケジュールを追加する場合は、[+] をクリックします。

スケジュールを設定するウィンドウが表示されます。

曜日：[毎日] の場合

曜日：[個別日] の場合

フィールド	説明
開始時刻	スケジュールの開始時刻を設定します。
終了時刻	スケジュールの終了時刻を設定します。
曜日	[毎日] または [個別日] を選択し、[個別日] を選択した場合は曜日のチェックボックスをオンにします。

4 無線信号をオフにする開始時間と終了時間を入力します。

5 曜日のドロップダウンメニューから繰り返しパターン（毎日／個別日）を選択します。

6 [個別日] を選択した場合は、曜日のチェックボックスをオンにします。

7 [更新保存] をクリックします。

セキュリティ

[セキュリティ] メニューでは、以下の項目を設定できます。

- ファイアウォール
- MAC フィルタ
- IP フィルタ
- ポートフィルタ
- URL フィルタ
- 保護者制限
- DMZ と ALG

ファイアウォール

注意

- ファイアウォールのセキュリティは、ONT により提供されるサービスのみ適用されます。LAN 側からのインターネットアクセスは、このファイアウォールの影響を受けません。
- オフ、低、および高の 3 つのセキュリティレベルを利用できます。

レベル	説明
オフ	ポート転送、DMZ、ホストアプリケーションおよびホストのドロップなど、事前経路指定がサポートされます。また、DDNS、DHCP、DNS、H248、IGMP、NTP クライアント、SSH、Telnet、TFTP、TR-069 および VoIP などのアプリケーションサービスもサポートされます。
低レベル	ポート転送、DMZ、ホストアプリケーションおよびホストのドロップなど、事前経路指定がサポートされます。また、DDNS、DHCP、DNS、H248、IGMP、NTP クライアント、TFTP、TR-069 および VoIP など、アプリケーションサービスもサポートされます。echo request and reply、destination unreachable および TTL exceeded のタイプの ICMP メッセージが許可されます。そのほかの ICMP メッセージタイプはブロックされます。DNS プロキシは LAN から WAN へはサポートされますが、WAN から LAN はサポートされません。
高レベル	事前経路指定およびアプリケーションサービスはサポートされません。サービスへアクセスするには UDP Port 8000 を使用できます。たとえば、FTP は 8021 を使用し Telnet は 8023 を使用できます。通常の UDP は使用できません。RG アクセスは LAN 側経由では許可されますが、WAN 側からは許可されません。

1 メニューで [セキュリティ] > [ファイアウォール] の順に選択します。

ファイアウォールに関する設定項目が表示されます。

EPONホームゲートウェイ ログアウト English | 日本語

セキュリティ>ファイアウォール

セキュリティレベル 低

アタックプロテクション 有効

高：インバウンドトラフィックを禁止し、アウトバウンドの共通サービスを最小限に許可します。
 低：すべてのアウトバウンドトラフィックと、特定ポートへの受信トラフィックが許可されます。
 オフ：全てのインバウンドとアウトバウンドトラフィックが許可されます。

保存 リフレッシュ

フィールド	説明
セキュリティレベル	ドロップダウンメニューから、セキュリティレベル（オフ/低/高）を選択します。
アタックプロテクション	ドロップダウンメニューから、アタックプロテクションの有効または無効を選択します。デフォルトは無効です。

2 ファイアウォールを設定します。

3 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

MAC フィルタ

- 1 メニューで [セキュリティ] > [MAC フィルタ] の順に選択します。
MAC フィルタに関する設定項目が表示されます。

The screenshot shows a web interface for configuring MAC filters. The top navigation bar includes 'EPONホームゲートウェイ', 'ログアウト', and language options 'English | 日本語'. The breadcrumb trail is 'セキュリティ > MAC フィルタ'. The left sidebar contains a menu with 'MAC フィルタ' highlighted in red. The main content area is divided into two sections: 'イーサネットインターフェイス' and 'Wi-Fi SSID'. Each section has a 'MAC フィルタモード' dropdown set to '許可', a 'LANポート' or 'SSID 選択' dropdown set to 'カスタム設定', and a 'MAC アドレス' input field with an example 'D0:54:2D:00:00:00'. Below each section is a table with 'MAC アドレス' and '削除' columns, and a 'リフレッシュ' button. A '保存' button is located below the input fields in each section.

フィールド	説明
イーサネットインターフェース	
MAC フィルタモード	このドロップダウンメニューから任意の MAC フィルタモード（禁止／許可）を選択します。
LAN ポート	MAC フィルタを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
MAC アドレス	ドロップダウンメニューから任意の MAC アドレスを選択するか、テキストフィールドにアドレスを入力します。
イーサネットインターフェースリスト	すでに設定されているイーサネットインターフェースがリストで表示されます。
Wi-Fi SSID	
MAC フィルタモード	このドロップダウンメニューから任意の MAC フィルタモード（禁止／許可）を選択します。
SSID 選択	ドロップダウンメニューから SSID を選択します。
有効	MAC フィルタを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
MAC アドレス	ドロップダウンメニューから任意の MAC アドレスを選択するか、テキストフィールドにアドレスを入力します。
Wi-Fi SSID リスト	すでに設定されている Wi-Fi SSID がリストで表示されます。

2 イーサネットインターフェースや Wi-Fi SSID に任意の MAC フィルタを設定します。

メモ

イーサネットインターフェースリストや Wi-Fi SSID リストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

IP フィルタ

1 メニューで [セキュリティ] > [IP フィルタ] の順に選択します。

IP フィルタに関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
IP フィルタ有効	IP フィルタを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
モード	ドロップダウンメニューから任意の IP フィルタモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> アップリンクをドロップ ダウンストリームのドロップ アップストリームトラフィックを許可 ダウンストリームトラフィックを許可
インターネット端末	ドロップダウンメニューから任意の内部クライアントを選択するか、[カスタム設定] を選択して IP アドレスを入力します。
ローカル IP アドレス	インターネット端末で [カスタム設定] を選択した場合に、ローカル IP アドレスを入力します。
ローカルサブネットマスク	インターネット端末で [カスタム設定] を選択した場合に、ローカルのサブネットマスクを入力します。
リモート IP アドレス	インターネット端末で [カスタム設定] を選択した場合に、リモート IP アドレスを入力します。
リモートサブネットマスク	インターネット端末で [カスタム設定] を選択した場合に、リモートのサブネットマスクを入力します。
プロトコル	ドロップダウンメニュープロトコルから任意のアプリケーションまたは [ALL] を選択します。
IP フィルタリスト	すでに設定されている IP フィルタがリストで表示されます。

2 IP フィルタを設定します。

メモ

IP フィルタリストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 【保存】をクリックします。

メモ

【リフレッシュ】をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

ポートフィルタ

1 メニューで [セキュリティ] > [ポートフィルタ] の順に選択します。

ポートフィルタに関する設定項目が表示されます。

EPONホームゲートウェイ ログアウト English | 日本語

セキュリティ>ポート フィルタ

ポートフィルタ 有効

モード アップリンクをドロップ

プロトコル ALL

ソース開始ポート

ソース終了ポート

宛先開始ポート

宛先最終番号

モード	プロトコル	ソース開始ポート	ソース終了ポート	宛先開始ポート	宛先最終番号	削除

保存 リフレッシュ

フィールド	説明
ポートフィルタ有効	ポートフィルタを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
モード	ドロップダウンメニューから任意のポートフィルタモードを選択します。デフォルトは [アップリンクをドロップ] です。 <ul style="list-style-type: none"> アップリンクをドロップ ダウンストリームのドロップ アップストリームトラフィックを許可 ダウンストリームトラフィックを許可
プロトコル	ドロップダウンメニュープロトコルから任意のアプリケーションまたは [ALL] を選択します。デフォルトは [ALL] です。
ソース開始ポート	ソーススタートポートを入力します。
ソース終了ポート	ソースエンドポートを入力します。
宛先開始ポート	デスティネーションスタートポートを入力します。
宛先最終番号	デスティネーションエンドポートを入力します。
ポートフィルタリスト	すでに設定されているポートフィルタがリストで表示されます。

2 ポートフィルタを設定します。

メモ

ポートフィルタリストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

URL フィルタ

1 メニューで [セキュリティ] > [URL フィルタ] の順に選択します。

URL フィルタに関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
URL フィルタ有効	URL フィルタを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
除外モード	除外モード（除外 URL / URL を含む）を選択します。
URL フィルタリスト	すでに設定されている URL リストが表示されます。
URL アドレス	URL アドレスを入力します。
ポート番号—デフォルト ポート番号は 80 です	ポート番号を入力します。デフォルトは 80 です。

2 URL フィルタを設定します。

メモ

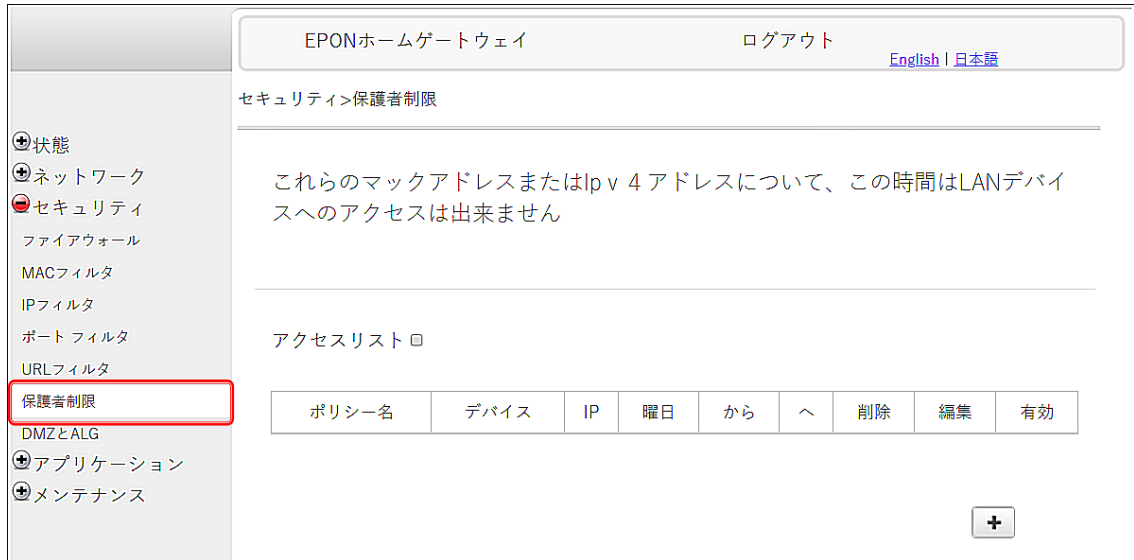
URL フィルタリストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 [フィルタ追加] をクリックします。

保護者制限

1 メニューで [セキュリティ] > [保護者制限] の順に選択します。

保護者によるアクセス制限に関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
アクセスリスト (チェックボックス)	アクセスリストを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。ブロックするアクセスを追加する場合は、[+] をクリックし、内容を設定します。
アクセスリスト (リスト)	すでに設定されているアクセスがリストで表示されます。 [削除]：ボタンをクリックすると、対象リストを削除します。 [有効]：ブロックを有効にするには、チェックボックスをオンにします。 [編集]：ボタンをクリックすると、対象リストの各フィールドを編集します。

2 [アクセスリスト] チェックボックスをオンにします。

3 ブロックするアクセスを追加する場合は、[+] をクリックします。

アクセスを設定するウィンドウが表示されます。

フィールド	説明
ポリシー名	ドロップダウンメニューから任意のポリシーを選択するか、保護者制限の名前を入力します。
MAC アドレス	ドロップダウンメニューから任意の MAC アドレスを選択するか、MAC アドレスを入力します。
IPv4 アドレス	ドロップダウンメニューから任意の IPv4 アドレスを選択するか、IPv4 アドレスを入力します。
Url ポート	Url ポートを入力するか、リストから任意の Url ポートを選択します。
曜日	[毎日] または [個別日] を選択し、[個別日] を選択した場合は、ポリシーを適用する曜日のチェックボックスをオンにします。
から: ^ :	開始と終了の時刻を入力します。

4 ブロックするアクセスを設定し、[追加] をクリックします。

5 [変更保存] をクリックします。

6 設定したアクセスを有効にするには、[有効] をクリックします。

DMZ と ALG

1 メニューで [セキュリティ] > [DMZ と ALG] の順に選択します。

DMZ と ALG に関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
ALG 設定	ALG がサポートするプロトコル (FTP/TFTP/SIP/H323/RTSP/L2TP/IPSEC/PPTP) を有効にするには各チェックボックスをオンにします。
DMZ 設定	
DMZ 有効	選択した WAN 接続で DMZ を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
DMZ IP アドレス	ドロップダウンメニューから任意の DMZ IP アドレスを選択するか、[カスタム設定] を選択して、DNS IP アドレスを入力します。

2 有効にする ALG のチェックボックスをオンにします。

3 [ALG 保存] をクリックします。

4 DMZ を設定します。

5 [DMZ 保存] をクリックします。

アプリケーション

[アプリケーション] メニューでは、以下の項目を設定できます。

- ポートフォワーディング
- ポートトリガリング
- DDNS
- NTP
- UPNP と DLNA

ポートフォワーディング

- 1 メニューで [アプリケーション] > [ポートフォワーディング] の順に選択します。
ポートフォワーディングに関する設定項目が表示されます。

EPONホームゲートウェイ ログアウト English | 日本語

アプリケーション>ポートフォワーディング

アプリケーション名 カスタム設定 ▼

WANポート [] ~ []

LANポート [] ~ []

インターネット端末 カスタム設定 ▼ []

プロトコル TCP ▼

マッピング有効

追加

アプリケーション名	WAN接続	WANポート	LANポート	端末名	インターネット端末	プロトコル	状態	削除
-----------	-------	--------	--------	-----	-----------	-------	----	----

フィールド	説明
アプリケーション名	ドロップダウンメニューから任意のアプリケーション名を選択します。
WANポート	WANポートの範囲を入力します。
LANポート	LANポートの範囲を入力します。
インターネット端末	ドロップダウンメニューから接続済みデバイスを選択するか、関連づけられているIPアドレスを入力します。
プロトコル	ドロップダウンメニューから、任意のポート転送プロトコルを選択します: <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP • TCP/UDP
マッピング有効	マッピングを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
ポートフォワーディングリスト	すでに設定されているポートフォワーディングがリストで表示されます。

2 ポートフォワーディングを設定します。

メモ

ポートフォワーディングリストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 [追加] をクリックします。

ポートトリガリング

1 メニューで [アプリケーション] > [ポートトリガリング] の順に選択します。

ポートトリガリングに関する設定項目が表示されます。

EPONホームゲートウェイ ログアウト English | 日本語

アプリケーション>ポートトリガリング

アプリケーション名: カスタム設定

オープンポート: [] ~ []

トリガリングポート: [] ~ []

エキスパイアー タイム: 600 (レンジ1~999999)(秒)

オープンプロトコル: TCP

トリガープロトコル: TCP

トリガリング有効:

[追加]

アプリケーション名	WAN接続	オープンポート	トリガリングポート	エキスパイアータイム	オープンプロトコル	トリガープロトコル	状態	削除
-----------	-------	---------	-----------	------------	-----------	-----------	----	----

フィールド	説明
アプリケーション名	ドロップダウンメニューから任意のアプリケーション名を選択します。
オープンポート	開いているポートの範囲を入力します。
トリガリングポート	トリガー用ポートの範囲を入力します。
エキスパイアータイム	期限切れ時間を秒数で入力します。
オープンプロトコル	ドロップダウンメニューから、任意のオープンプロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP • TCP/UDP
トリガープロトコル	ドロップダウンメニューから、任意のトリガープロトコルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP • TCP/UDP
トリガリング有効	ポートトリガーを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
ポートトリガリングリスト	すでに設定されているポートトリガリングがリストで表示されます。

2 ポートトリガリングを設定します。

メモ

ポートトリガリングリストで [削除] をクリックすると、設定を削除できます。

3 [追加] をクリックします。

DDNS

1 メニューで [アプリケーション] > [DDNS] の順に選択します。

DDNS に関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
DDNS 有効	選択した WAN 接続で DDNS 有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
ISP	ドロップダウンメニューから ISP を選択します。
ドメイン名	ドメイン名を入力します。
ユーザ名	ユーザ名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

2 DDNS を設定します。

3 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

NTP

1 メニューで [アプリケーション] > [NTP] の順に選択します。

NTP に関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
NTP サービス有効	NTP サービスを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
現在の状況	ローカルの現在時刻と日付を入力します。
プライマリタイムサーバー	ドロップダウンメニューから任意の時刻サーバーを選択するか、[カスタム設定] を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。
セカンダリタイムサーバー	ドロップダウンメニューから任意の時刻サーバーを選択するか、[カスタム設定] を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。
サードタイムサーバー	ドロップダウンメニューから任意の時刻サーバーを選択するか、[カスタム設定] を選択して時刻サーバーのアドレスを入力します。
インターバル時間	時刻サーバーから時刻を取得する間隔（単位：秒）を入力します。

2 NTP を設定します。

3 [保存] をクリックします。

メモ

[リフレッシュ] をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

UPNP と DLNA

1 メニューで [アプリケーション] > [UPNP と DLNA] の順に選択します。

UPNP と DLNA に関する設定項目が表示されます。



フィールド	説明
UPnP/DLNA 有効	UPnP/DLNA サービスを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

2 UPNP と DLNA を設定します。

3 [保存適用] をクリックします。

メンテナンス

【メンテナンス】メニューでは、以下の項目を設定できます。

- パスワード
- 端末再起動
- 工場出荷時設定
- 設定

パスワード

1 メニューで【メンテナンス】>【パスワード】の順に選択します。

パスワード変更の項目が表示されます。

The screenshot shows the 'EPONホームゲートウェイ' (EPON Home Gateway) interface. At the top right, there are links for 'ログアウト' (Logout) and language options 'English | 日本語'. The main content area is titled 'メンテナンス>パスワード' (Maintenance > Password). On the left, a navigation menu lists various settings, with 'パスワード' (Password) highlighted in a red box. The main form contains four input fields: 'オリジナルパスワード' (Original Password), '新パスワード' (New Password), 'パスワード再入力' (Re-enter Password), and '表示メッセージ' (Display Message). Below the fields are two buttons: '保存' (Save) and 'リフレッシュ' (Refresh).

フィールド	説明
オリジナルパスワード	これまでのパスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワード再入力	確認のため、上記で入力した新パスワードを再度入力します。
表示メッセージ	パスワードを促すメッセージを入力します。

2 新しいパスワードを設定します。

3 【保存】をクリックします。

メモ

【リフレッシュ】をクリックすると、表示が最新の状態に更新されます。

端末再起動

1 メニューで [メンテナンス] > [端末再起動] の順に選択します。

端末再起動のボタンが表示されます。



2 [再起動] をクリックします。

本製品が再起動されます。

工場出荷時設定

1 メニューで [メンテナンス] > [工場出荷時設定] の順に選択します。

工場出荷時の設定に戻すボタンが表示されます。



2 [工場出荷時設定] をクリックします。

本製品の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

診断

1 メニューで [メンテナンス] > [診断] の順に選択します。

診断に関する設定項目が表示されます。

フィールド	説明
WAN 接続リスト	ドロップダウンメニューから任意の WAN 接続を選択します。
IP もしくはドメイン名	IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
テスト	テストするタイプ (ping/トレースルート) を選択します。
ping 実施回数 (1~1000)	ping 試行を実行する回数 (1~1000) を入力します。デフォルトは 4 です。
パケット長 (64~1500)	ping パケット長 (64~1024) を入力します。デフォルトは 64 です。
最大トレースホップ数 (1~255)	ホップの最大追跡回数 (1~255) を入力します。デフォルトは 30 です。

2 診断項目を設定します。

3 [テスト開始] をクリックします。

結果は、ウィンドウ下側に表示されます。

メモ

テストを取り消す場合は [キャンセル] をクリックします。

仕様

性能動作
<ul style="list-style-type: none"> • Web ブラウザを介した設定 • SSH-Telnet-FTP アクセス • 802.11n 2x2 MIMO 2.4 GHz、 802.11ac 4x4 MIMO 5GHz の同時対応 • DPoE マルチキャスト 2.0 • IEEE 802.11ac/b/g/n
設定動作
<ul style="list-style-type: none"> • 上り 1G、下り 2G のデータレートを持つ、単一ファイバーターボ EPON インターフェース
<ul style="list-style-type: none"> • 256 RAM、256 フラッシュメモリ
<ul style="list-style-type: none"> • LLID とイーサネットレイヤー間の相互作用機能
<ul style="list-style-type: none"> • PON に対する多重化および非多重化機能
<ul style="list-style-type: none"> • トラフィックの分類と QoS 機能
<ul style="list-style-type: none"> • 複数音声コーデック
<ul style="list-style-type: none"> • MDI/MDIX 自動ネゴシエーション
<ul style="list-style-type: none"> • UPnP IGD 2.0 サポート
<ul style="list-style-type: none"> • WPS 無線認証対応
<ul style="list-style-type: none"> • 2.4GHz/5GHz 二重帯域幅の同時対応
<ul style="list-style-type: none"> • 64/128WEP 暗号化
<ul style="list-style-type: none"> • WPA、WPA-PSK/TKIP
<ul style="list-style-type: none"> • WPA2、WPA2-PSK/AES
<ul style="list-style-type: none"> • マルチ SSID (プライベートとパブリック) 対応
<ul style="list-style-type: none"> • WLAN オン/オフのプッシュボタン
<ul style="list-style-type: none"> • WPS/PBC ボタン (2.4G と 5G 用)
<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークアドレス変換 (NAT)
<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークアドレスポート変換 (NAPT)
<ul style="list-style-type: none"> • ALG と UPnP のポートフォワーディング
<ul style="list-style-type: none"> • DMZ
<ul style="list-style-type: none"> • IP/MAC フィルタ
<ul style="list-style-type: none"> • マルチレベルファイアウォール
<ul style="list-style-type: none"> • DNS サーバー

<ul style="list-style-type: none"> • DHCP クライアント/サーバー 	
<ul style="list-style-type: none"> • 最大 32 の同時ワイヤレス接続対応 	
<ul style="list-style-type: none"> • 外付け USB HD (ハードドライブ) に対応 	
インターフェース	
<ul style="list-style-type: none"> • Ethernet : 4 ポート 10/100/1000 BASE-T 	
<ul style="list-style-type: none"> • Turbo EPON : 1 ポート 	
LED	
<ul style="list-style-type: none"> • POWER 	<ul style="list-style-type: none"> • WPS 2.4G
<ul style="list-style-type: none"> • LINK 	<ul style="list-style-type: none"> • WPS 5G
<ul style="list-style-type: none"> • AUTH 	<ul style="list-style-type: none"> • WLAN 2.4G
<ul style="list-style-type: none"> • TA 	<ul style="list-style-type: none"> • WLAN 5G
<ul style="list-style-type: none"> • GE1~GE3 	<ul style="list-style-type: none"> • INTERNET
外部ボタン	
<ul style="list-style-type: none"> • WPS : 装置背面 	
<ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレス入/切 : 装置背面 	
<ul style="list-style-type: none"> • リセット : 装置背面 	
電源・電力	
<ul style="list-style-type: none"> • 使用電源 : 交流 100V 	
<ul style="list-style-type: none"> • 消費電力 : 23W 	
外形寸法	
<ul style="list-style-type: none"> • 寸法 : 170 (H) × 280 (W) × 69 (D) mm 	
<ul style="list-style-type: none"> • 重量 : 1,230 g ± 50 g (2.711 lb) 	
アクセサリ	
<ul style="list-style-type: none"> • AC アダプター・電源アダプター 	
<ul style="list-style-type: none"> • LAN ケーブル (CAT5e RJ45) 	
<ul style="list-style-type: none"> • クイックセットアップマニュアル 	